

博物館市民説明会 R7.7.5上井出（昼）

質問	
Q	<p>富士宮でインバウンドのエコツアーをおこなっており、本当に経済力もしっかりとある、質の高いお客様が見に来てくれている。</p> <p>加えて、ほぼ30年間エコツーリズムをおこなっており、ジャイカのエコツアー、エコツーリズム支援を18か国で観光開発の支援、地域の人たちに付加価値をサポートする支援を続けている。すごく重要なポイントとして、ビジターセンターや博物館などの施設と観光ツアーをどうリンクさせるかという仕事をしていて、そういう視点で話をしたい。</p> <p>郷土史博物館はすごく重要だと思っている。インバウンドの視点で、富士宮がどうあればよいのかということを伝えたい。</p> <p>また、世界遺産センターにいつも海外のお客さんを連れていくが、すごく喜んでいる。だが、世界遺産センターには富士宮の話がほとんどない。縄文遺跡の話も、いちばん上の部屋でほんの少し映像がある程度で、富士宮のことが全く書かれていないのが気になった。</p> <p>なぜ皆さんが富士宮にくるかというと、開発がされていない日本の美しい自然と文化がそのまま残っているというのが一番の理由。</p> <p>開発していないところに価値がある。人と出会うということ。正直博物館ができてもなかなか海外のお客様は来ないのでと思う。今来ている人は船で、ツアーデ来ているので、浅間大社のあたりの滞在時間は2時間切っている。私はお店もやっているが、そういう現実を見ると、この施設があるから海外の人が来る、増えていくことはないと思う。</p> <p>ただ、海外のお客様はたくさん富士宮を歩いている。白糸の滝から東海自然歩道を抜けて、田貫湖まで歩いている人もいる。街なかでもたくさん海外のお客様が歩いている。そのお客様から言われているのは、歩く博物館がすごくよいということ。そこをもっと海外の人にも分かりやすくするように、例えばQRコードを付けるとか、少しでも歩いてもらえるようなことができると、もっと富士宮の価値が理解してもらえると思う。</p> <p>この施設が歩いて回ってもらうためのハブとして、中心地として活用してもらうということであれば、一つの価値があると思う。多言語にすることですごくコストがかかってくる。QRコードで大事なところまでを載せ、外を歩いてもらうような、もしくは観光施設を紹介してもらう場所になるよいと思う。</p>

世界遺産センターは、これから作る郷土史博物館とねらいが違う。世界遺産センターには世界遺産センターのねらいがあるが、郷土史博物館は、富士宮市の歴史を市民に知っていただく、また市外の人たちにも知っていただく、またインバウンドによって、外国から来た人たちにも知っていただくという、目的が違う。

今富士宮市に観光に来ると、浅間大社と白糸の滝を見て終わってしまう。

世界遺産センターは県が運営しているが、富士宮市は市の考え方で、インバウンドや大勢の人に来ていただいたり、あるいは中心市街地を活性化するような、そして富士宮の町の歴史をいろいろ知っていただくという役割がり、それは分けて考える必要がある。

歩く博物館の話は、まさにセンター的な、中心的な役割をこの郷土史博物館が持つように考えている。

富士宮市には、市民が知らない隠れた歴史物語がたくさんある。織田信長と徳川家康が来ており、武田攻めのあと、織田信長が山梨から凱旋して、朝霧高原で迎え馬駆けを行い、そのあと三か月のうちに本能寺の変のがあったり、あるいは徳川家康がその武田攻めにいるときに、北山本門寺が鉄砲曼荼羅という、曼荼羅を借りて、自分の命を守ってくれたっていう話で、南無妙法蓮華経と書いた曼荼羅を胸に入れていたところ、そこに鉄砲の玉が当たって、命が助かったと。そのお礼に北山用水の開削して、などという細かい話がたくさんあって、そういう話をぜひ知っていただきたいと思う。

徳川家康が浅間大社の社殿を造営したという歴史もよく分からぬ人がいると思う。富士宮はまだまだたくさんの歴史や物語がある。それを大事にして子孫につなげたい。それにかかるいろいろな資料がある。そういう資料が、このままでは朽ちてしまうので、そういうものを大事にしていきたい。郷土史博物館は富士宮市の眠っているいろいろな歴史的な資料、文化財をもう一度世に出して、地域に保存していくという大事な施設。民具などは、立派な、湿度や温度を管理するようなものでなくとも、空き教室などを使ってきちんと保管し、こどもたちの社会科の勉強になるように保存していくような、そういう保管の仕方も考えいかなければならない。

ツアーも世界遺産センターに来た時に、今考えているのは、駅前のきららの駐車場に郷土史博物館を作って、連動させていきたいなとも考えている。そしてまちの活性化にも繋げていきたいと思っている。

いろいろな方とまだいろいろな相談をしているとのことだが、こういうものは、エンターテイメント。話をするときにそういう方たちがいっぱいいたほうが良いと思う。

学校の先生や大学の先生が悪いわけではないが、エンターテイメントなので、そういう方たちが来て、こんな作り方があるというような意見を何倍も聞いたほうがよい。

文化会館で何かの催しがあったときに、地元の人と手を組んで、みんなから積極的に説明していると、お客様は、いや今日の話は資料館が面白かったねっていうこともできる。

市長

Q

Q	<p>それをただ置いておいて、人が入って見るとか、それで盗難があったりすると困るからとかそういう問題ではない。</p> <p>非常に積極的に、今の市長の話みたいなことが、常に資料館の中で行われていると、市民も来た人も曾我兄弟ってそうだったのかとなる。そういうことが資料と結びついて、多くの人が興味を持って、そういう史実があったことが分かれば、主体的に考える。ただ展示するだけでは、ふーんと終わってしまう。今までやってきた文化課の方たちに大反省をしてもらい、ただ展示して置いておけばよかったではなく、頻繁に行って、市民にアピールして、富士宮はこうだったと言って、行った人が資料館の人面白かったねと言うような実績がたくさんあれば、こういう話があったときに、あの文化課がやる話だったら、もっと立派なものを作ったときに、もっと素晴らしい、来た人たちが必ず資料館に寄ろうと、あそこ面白いよと、いろいろな人が来ていろいろな話をするようなこと。</p>
文化課長	<p>僕なら講談師を呼んで曾我兄弟の話をさせる。そうするとみんなが曾我兄弟はそんなだったのかと思う。歴史を調べると実は悪かった人が実はいい人のようなこともある。</p> <p>こういうところをやる時にはもっと違う人、そういう人の意見を聞くと、全然違ったことを教えてくれると思う。そういうことも頭のすみに入れて、ただ無難に学校の先生や、市長、議員などこれでやっておけば議会からも何からも間違いないだろうというような線じゃなく、こんな人やあんな人を呼んだらと、市長にお願いして、必要な人に堂々と意見を述べてもらうと。そうすればこういうものを作った時も、全然アピールの仕方が違ってくると思う。ぜひ検討していただきたい。</p>
市長	<p>先ほど策定委員会のメンバーの話もあったが、基本計画を作っている中で、エンターテイメントの方ではないが、市民の意見も市民の目線で今のようなお話も聞けたらなということで、ワークショップを今後やって市民の意見も聞いていく予定。今ご提案いただいたように、といった視点のお話も聞ける人がいれば、そういう人にも聞きながらやっていきたい。</p> <p>富士宮の武田と北条と今川のあと家康が武田に向かって、今川に向かって入っていくが、普通の歴史を取って見てみても、興味深いものがあり、そのほかいろいろな物語が出てくるので、そういうもの具体的に展示したり、色々な物語として発表したり、ということが面白みのある郷土史博物館につながっていくのではと思う。</p> <p>そういうことを知っている学者さんや、先生などいろいろな人、富士宮市にたくさんいるので、そういう方々に策定委員になっていただいて、面白い郷土史博物館にしていきたい。</p>

	<p>この郷土史博物館は必要という前提になる点から質問したい。</p> <p>まず、昭和45年に富士宮市郷土資料館が開設し、その後、文化会館駐車場のために取り壊した。では、なぜその時作らなかったのか？</p> <p>郷土資料館が無くても、文化会館の中にある程度資料館作ればよいのではという考えがあったのではと思い、今更郷土資料館作ろうと言われても、みんな納得できない。ではなぜもっと早くやらなかったのと感じるが、壊してしまった理由が、駐車場というだけなのか、老朽化で、本来は新しく作りたかったができない、やっと作れるようになったのかという理由を明確にするべきだと思う。</p> <p>Q もう一つ、郷土史博物館の活動がどうしても富士山世界遺産センターの活動と被ってしまう。富士宮が富士山のふもとにある市町ということで、かなり差別化しないと富士宮でなくとも富士山を見れば大体分かるとなってしまう。それが問題。差別化、互いに理解し合えるような形にしないと、どちらも埋没してしまう。山梨も富士山を推しているので、山梨に行ったら、両方とも沈んでしまうと思うので、その辺りはどう考えているのか。</p> <p>もう一つ、建物の件で、施設の考え方で新築前提、ただしコンパクトというところで、今、学校の廃校を利用した博物館がたくさんあって、かなり成功されている部分があるので、その辺も考えることがよいと思う。新しく作るとお金がかかってしまうし、ペイすることは難しいと思うので、ランニングコストも考えて、その辺りももう一回考えていただけたらと思う。</p>
市長	<p>まず一点目、前の郷土資料館は、私の住まいだった宝町の真ん前にあった。当時市役所の分室もあったが、当時、市の庁舎も文化センターもできなかったり、市の建物が分散型だった。段々市役所を統合して作り、一つ一つを解決してきたが、あの当時、郷土資料館はいつかもう少ししっかりしたものを作ろうという考えがあったが、バブルがはじけたりなどして財政的な状況によって叶わず現在に至っている。しかし、いつかは作ろうという思いがあり、静岡県下十万人以上の都市で、博物館がないのは富士宮市だけとなり、もっと大事な資料を、湿度温度を管理できる部屋を作って、そのまま後世に残していくかなければ困るというのが一つ。</p> <p>そして二つ目、世界遺産センターとの差別化については、世界遺産センターは名前の通り、信仰の対象と芸術の源泉というようなテーマのもと、県が運営しているもの。富士山は、世界に名だたる山ですが、それに対するいろいろな展示や研究は、最高レベルのものを展示したり保存したり、勉強する場所にと県が考えている。富士宮市は、そのようなレベルの高いことではなくて、もっと民衆的な、市のいろいろな歴史文化を保存し、それを勉強していくもので、目的が違うようなものになると思っている。</p>
	<p>空き教室や校舎を使うという考え方もあるが、全体的な市の大変なものに関しては、温度・湿度管理できる収蔵庫や、学習する場などを備えたものを新たに考えていきたい。民具などは空き教室に収蔵するなど、教室も使ったり、新しいものも使っていく、そういう形でやっていきたい。</p>

文化課長	<p>世界遺産センターとの差別化について、結局富士山の歴史文化といったら富士山になってしまい、山梨と変わらないんのではという話があったが、先ほど富士宮の歴史文化は、その土台に富士宮の風土があるという説明をした。富士山も風土であるし、天子山地も同様。芝川のほうにいけば富士川や羽鮈丘陵、その間を流れる川など、風土や気候など様々なものに影響している部分がある。</p> <p>富士山の地質によってこの水が豊富ではない朝霧高原を、どう開拓してきたか、この歴史などもある。これは富士山の土地があり、地質があり、そこに広い場所があるなど、そういった歴史があるところを富士山とつながるような歴史文化は、市内に沢山あるので、やはり富士山が元にはなるが、そこに生きてきた人々の暮らしや文化などは、世界遺産センターでは取り上げる内容ではないので、棲み分けはできると考えている。</p>
Q	<p>私は反対派の意見。資料館が必要だと思うが、資料の保存状態が危機的状況ということだが、資料は保存する場所をきちんととしておけばよいと思う。先ほどツアー仕事をしている人やエンターテイメントの話をした人がいて、その二点すごくよいと思ったが、やはり歩くことでいろいろなことを学ぶこともある。</p> <p>市長の話も、知っている人はもう知っている話であり、知らない人はいつまで経っても知らない。富士宮市の人一人の「歴史好き度」のようなものが上がっていかることで作るのであればよいと思う。私の意見は、やはりその始めにみんなが歴史にもっと興味を持ってから作ったほうがよいと思う。</p> <p>一定数の人はすごく富士宮の歴史が好きであり、私も好き。市長も好きであるし、ここに来ている人は好きな人が多いと思うが、知らないといつまで経っても知らないので、そんなことで施設を作ることは反対。</p> <p>富士宮はすごく危険なところがたくさんあり、カーブミラーを全部直して欲しいし、細い路地から大通りへ出る時に、看板や植木や生垣で見通しの悪い所が外神でも何か所もある。富丘小近くの商店の交差点は信号をつけて欲しいし、西駅の交差点は西からくる大型車が右折して西駅に入るときにすごく狭くて、西駅から北に帰っていく人たちの車が停車線まで来ると、西から来た右折車とぶつかってしまう。そういう停止線を下げるなど、まずやることがもっと沢山あると思う。</p> <p>もちろん文化課のやることではないが、歩く地図のような、謎解きみたいな事をするなど、エンターテイメントは私もすごく好きであるし、歩くことで知ることもいっぱいあるので、歩くことがまず大事というか、もっと知ってもらうというソフト面が必要だと考える。</p>
	<p>資料は増えるので保存庫は、増やすことができるキュービック式で将来に向けて作っていったらよいと思う。富士宮の図書館も改装したみたいだが、本を頼むときに書架から出してくれるが、その本が結構かび臭く、そういうものと一緒に、富士宮の資料というのは大事にしていくことは必要。シェルター的な湿度、温度管理した場所は必要だと思う。</p>

保存場所については、どの資料も、図書館も、きちんとしなきければならない。郷土史博物館がきちんとしなければならないなと思っている。現在の状況では、とてもこのまま後世に伝えるような状況で臨んでいけないという心配があり、それは早く急いで行いたい。

それから、歩く博物館は、郷土史博物館を拠点にして、いろいろな文化財を紹介するようにしたいと考えている。

富士宮市には直さなければいけない点がたくさんあることについて、先ほどの商店の交差点も、用地の協力があれば、信号機をつけたり、幅を広げたりできる。それでも、郵便局のほうもお願いしてそこまで広げることができた。、一つ一つ市民の皆様の協力を仰ぎながら解決していきたい。

市長

また財政的な問題を心配している点もあると思うが、今、富士宮市はふるさと納税が静岡県で焼津に次ぐ二番目で、沢山の税金をもらっている。令和6年度のふるさと納税の額は69億、その前が64億くらいで、今年はまた10パーセント以上も多く70億以上のふるさと納税が入る見込みである。そのうちの半分くらいを返礼品でお返しする。ふるさと納税の半分くらいが、富士宮市へ税として入ってくる。財政が豊かなうちに、しっかりとしたものを作っていきたい。

私が市長になってから、小中学校の全教室にエアコンを入れてこどもたちの教育環境を整備した。今度令和7年、8年度の2年かけて、34校の体育館の屋内運動場に全部エアコン入れる。そしてこどもたちの学習環境を良くしていきたい。災害が起こった時に避難所となるような体育館なので、そういうこともあり、市民の避難時の安全を確保するためにもエアコンを整備する。その他公園を作ったり、学校を作ったり、いろいろな場面で一生懸命市民のために、色々問題点はあるが、なるべくそれを解決するための方策を講じたい。

先日も、第三子の保育料を無償化すべきだということで、色々検討した。郷土史博物館を作っても決して財政的に困窮しないような準備を進めている。その点については安心してほしい。

文化課長

博物館を作らなくても、市民に歴史文化を知もらう方法はあるのではないか、まずそういうことを行って皆さんの興味が高まってきてから作ったほうがよいのではというご意見をいただいた。学芸員の仕事を見ると、例えば、戦国時代の富士宮を少しでも分かりやすく、興味を持ってもらいたいと思って冊子を作ったり、広報ふじのみやでも、何回か連載して、戦国時代の富士宮について、皆さんに知っていただくこともしてきた。そういう中で、市政モニターの方に富士宮の歴史は色々あるが、縄文の遺跡が沢山あることを知っているか？巻き狩りが行われたことを知っているか？と色々と質問した。そこまでやった中でのアンケートだったが、戦国時代のことが皆さんあまり認識されていなかったということがあった。知っていただくための発信の方法はいろいろあると思う。冊子やHPなどもあるが、その中の一つとしてやはり郷土史博物館の展示で、展示するだけではなくて、そこで学芸員が解説をする、分からないことあったら答える、そういったことも必要と思っている。

	<p>郷土資料館は展示がメインの施設だった。図書館の書庫を直して、そういうものを一緒に保存してはどうか、という話をいただいた。</p> <p>ただ、収蔵品と展示品、展示室、学芸員がセットでいられる場所が、ずっと無かった。郷土資料館の展示も、過去どんな展示を行ったか見ていくと、いろいろ面白そうな展示やっているが、残念ながら資料館には学芸員がいる場所はないので、どうしても無人になってしまう。もちろん展示解説も行うが、通常は見て下さい読んでくださいだけの展示になってしまっていた。学芸員がいろいろ頑張って展示をしたり冊子も出したりしている中で、なかなか伝えきれていなかったのは残念だと思っている。</p> <p>文化課長 郷土資料館がきちんとしたものであれば、もう少し市民は色々知ことができたり、もっと興味のある方も増えていたと思うと、この郷土資料館が無くなつてからの何年かっていうのは本当に残念な期間だったと思う。</p> <p>コンパクトにと話をしているが、専門家の方は、収蔵庫は本来すべての収蔵品が一緒になければ。あちこち動かすとその分傷むので同じところにあった方がよいという意見は聞くが、その点については、富士宮市は大きな施設は難しいと思っているので、特別な環境の必要なもの、それから展示で活用するようなもの、そういうものを中心に収蔵し、そこで学芸員と体験もできる、そういうものも必要と考え、博物館の整備を目指している。</p> <p>また、図書館にはそういったところも伝えていきたい。</p>
Q	<p>施設を作るとメンテナンスにすごくお金がかかる。計画では、どのくらい経費がかかって、どれだけの収入を見込んでということが載ってくるという理解でよいか。</p> <p>文化課長 ランニングコスト、入っていくお金、出していくお金っていうところは、皆さんすごく気になるところだと思う。収入は、構想では入場料を取る方針でいる。その金額を、例えば小学生は安くするとか、無料にするとか、そういう減免の部分も検討していかなければならない。</p> <p>ランニングコストは、主に建物を維持管理する費用、そこで働く人の人件費、そこで行う事業費、この3つになる。基本計画を作る中で、どんなことをやるのか、規模はどれだけ必要なのかというようなところで、人間もどれくらいいたらその事業ができるのかということも検討していくことになる。基本計画が終わった時点で、その数字はっきり出せる状態ではない。そのあと色々事業を細かく考えていくので。ただ、そういうところは意識しながら計画を作っていく。</p>
Q	<p>資料の保管環境が良くないので、早急に対処していかなければいけないということが理解できた。私も歴史が大好きなので、こういう建物ができるることは市民として期待しているが、富士宮の歴史的な一番の売りは、やはり富士山に関するものだと思うので、世界遺産センターとの棲み分けはしっかりしていただきたい。富士山を抜かした他の歴史が何かと考えると、大鹿窪遺跡と戦国時代の大宮町などそのくらいしか浮かんでこない。</p> <p>例えば、古墳時代には富士宮はそれほど目立つような遺産はないと思う。ほかの自治体の話だが、沼津の高尾山古墳のようなのが今後出てくるかもしれない。何が売りになるのかという目玉的なものが弱いと思うので、その辺りもしっかり検討していただきたい。</p>

Q	<p>静岡市の歴史博物館を見に行った。建物は立派で綺麗だったが、内容が複製品ばかりで常設展に関してはかなり内容が薄いと思った。そういうことがないように、来て見てよかったですなと思えるような展示をしてほしい。</p> <p>やはり規模ありきではなく、コンパクトでも構ないので、いい展示、充実した展示をしてほしいと思う。</p>
文化課長	<p>基本計画の次に展示の設計なども行うので、そういうところで学芸員などといろいろ話し合いながら、いい展示を考えていきたい。</p>
市長	<p>富士宮の歴史のメインは、やはり鎌倉時代の頼朝の富士の巻狩りなどが大きなテーマ。それから曾我物語。戦国時代に非常にいろいろな動きがあり、武田、今川、北条、それから織田、徳川、そうした時代の変遷の中で、非常に興味深い話がいくつか出てくる。そういうことを市民に知っていたら何よりだと思う。古墳時代の話がないとのことだが、古墳時代の色々なこともあるので、ぜひ調べていただければありがたい。</p> <p>また、そういうこともこれから郷土史博物館で展示して、あるいは物語として発表できるのではないかと考えるので、ぜひ楽しみにしていただきたい。</p>
Q	<p>富士市には富士山かぐや姫ミュージアムという博物館があり、そこに行くと、トータルで古代からの歴史がわかるようなものがあるので、大変よいと思っている。富士宮市にも富士市とは全然違ったとてもよいものがある。しかし、なぜこんなに水が豊かなんだろうとか、いろいろ疑問に思っても、情報が分散していたりして、中々たどり着けない。もしそういうトータルで見れるものがあれば大変すばらしいと思う。</p> <p>例えば、成功例があるので、既存の学校を利用したらよいのではという思いがあるが、学校利用は成功例ばかりでないと思う。大きすぎてマッチングしないなど。基本計画は何案か立てられたりするものなのか。実際計画の検討過程などを、どういう風に知ることが今後できるのか。</p>
文化課長	<p>既存の公共施設の利用ということで、例えば学校。</p> <p>基本計画は、基本構想をもとに進んでいくので、建設することを主としているが、皆さんの意見を聞く中でそういう建物を利用した場合ということは、沢山ご意見を聞く。それについては、実際行ったらどれくらいなのか、いろいろな事例を見ていかなくてはいけないが、これから研究していくところと考える。</p> <p>基本計画を作っていく過程での情報公開は、策定委員会の資料や会議録を、HPで公開する予定で、一回目が6月の末に行われたので、今公開の準備をしている。</p> <p>議会などにも説明していき、基本計画がまとまる中で、基本計画をこんな形で考えているという説明しながら意見もいただければと思う。</p>

今日は基本計画の前の基本構想の話がだいぶ出てきた。二月議会で基本計画の予算が可決した。これから基本計画を作るためにどうするか。基本計画の後にこれから基本設計、そして実施設計、そういう手順を少しずつ踏んでいかなければならない。その間には専門業者や学者先生から意見を聞いたりして、一つ一つ積み上げて作り上げていく。場所はどうするのか、どれくらいの規模にするかというのはこれから練っていくことで、どうもこれがごちゃごちゃになっちゃっている。実際問題、まだそこまでの検討をしていない状態の中で、市民の色々な質問があるので、中々答えるほうも難しいこともある。

市長 例えば、場所の問題一つとっても、ここに書いてあるものとは違う場所が候補地として表れてきた。駅前交流センターきららの駐車場が候補に挙がってきたというのは、構想の段階では建物が建たないような接道要件があったが、駐車場に入るところの地主が協力してくれ、そこを通ればそこへホテルや郷土史博物館が建てられるようになりますということで、それならばあれだけ広い土地をもう少しなんとか活用できないかと、候補地に加わってきた。白糸自然公園はどうだろうと検討しているうちに、湿気が多くて問題があるだろうという話があり、いろいろな古いものを集めて収容して、広い郷土史博物館はどうだろうという話は、そういう状態では、それはもったいないと。

市長 例えば農機具などを保存していくのに、立派な建物を作る必要はない。そういうものは空き教室などへ入れておいて、そこはこどもたちが昔はこんなものを使っていたと社会科勉強の一つになればそれでよい。

市長 ただ、今は基本計画の段階なので、具体的に決まったものではないので、その点を考慮していただきたい。これから基本計画、実施設計、まだまだ踏まなければならない手順がたくさんある。そういう中で、市としては皆さんの今日言ってくださったご意見を大事にしながら前へ進めていきたい。ただ、市はやめる気はない。何としても作りたいという方向で進めていく。

文化課長 先ほど校舎を活用ということで、現在富士宮市内には廃校になっている建物はない。今後に向けた話し合いを始めており、いずれどこか廃校になる学校もあるかと思うが、それがいつになるかはわからない状況。

文化課長 そういう建物を活用すると、博物館のオープンはずっと先の話になってしまう。市民に歴史文化を知ってもらう場を作りたい。少子高齢化も進んでいて、子供たちに知っていただくにしても、なるべく早いうちに、多くの子供たちに知ってもらい、富士宮の歴史文化を伝えていきたい。そのためにもできれば本当に早く作りたいと思っている。既存の建物がいつになるか分からないのを待って作るもの、作ったときにどれくらい先になってしまって、子供たちがすごく少ない状態になって、どれだけ伝えていけるのかというところを考えると中々難しいというところが考えられる。そういう先のことを考えていかなければいけないと考える。